

賃金制度と労働組合の取組みに関する調査研究報告書

「現代日本の賃金制度の現状と展望に関する研究委員会」(*主査)

- * 石田 光男 (同志社大学社会学部教授) 藤村 博之 (法政大学経営学部教授)
 橋元 秀一 (國學院大學経済学部教授) 浦坂 純子 (同志社大学社会学部助教授)
 石塚 拓郎 (基幹労連事務局次長) 加藤 昇 (電機連合賃金政策部長)
 川合 孝典 (U I ゼンセン同盟前政策局製造政策担当)
 木住野 徹 (J AM労働政策局長) 小林 齊 (サービス・流通連合政策局長)
 田村 雅宣 (連合 総合労働局労働条件局長)

当研究委員会は、バブル経済崩壊以降現在までの十数年間、日本の賃金制度が大きな変革期にある中で、労働者の視点からの賃金論の構築を目指して、近年における企業の賃金制度改革内容の検討及び賃金制度の現状分析と理論的検討を行うことにより、労働組合の賃金制度構築に求められる実践的諸課題を明らかにすることとした。

当委員会においては、平成16年に実施された連合の「賃金制度調査」及び「生活アンケート調査」の調査結果及び企業における賃金制度改革の現状について、9社の単位労働組合から改革の内容、労働組合の対応などをヒアリング調査し、改定後の賃金制度の特色、労働組合の関わりなど、賃金制度に関する総合的検討を行い、昨年6月に、こうした素材を基に最近の賃金制度見通しでの論点をまとめた中間報告書を発行した。

今回の最終報告書ではそうした論点を更に掘り下げ、賃金制度改革の変化内容及びこれに対する労使関係の在り方、納得性確保に向けた労働組合の取組み、成果主義の趨勢の中における能力主義の意義、及び一般組合員に対するアンケート調査から見る現在の賃金制度の決定要因・納得性・制度評価に関する実証分析について取りまとめ、賃金の現状と提起されている課題について一定の整理を行った。また、各産業別組合において賃金に関する活動に携わる委員からの実態を踏まえた示唆に富む提言も得ることができた。

目次

はじめに

賃金制度に関する調査の実施概要

序章 報告書発刊にあたって

第1部 現代日本の賃金制度の変容を巡って

第1章 賃金制度改革と労使関係

第2章 賃金制度の改定と納得性の確保

第3章 「成果主義」の実態は「能力主義管理」の整備・徹底化 ー真の能力主義をもとめて

第4章 賃金決定・納得性・制度評価 ー2004 連合生活アンケート票に基く実証分析

第2部 労働組合として賃金運動に求められるもの

第1章 生産現場から見た賃金制度改革

第2章 電機産業における賃金制度改定と労働組合の取り組み課題

第3章 成果主義型賃金に対する労働組合の課題と考察

～U I ゼンセン同盟賃金制度研究会報告より～

第4章 社会性を持った賃金制度の構築に対し労働組合が果たすべき役割について

第5章 労働組合の賃金運動に求められるもの ー実践的課題の現状と展望ー

第6章 自動車総連の取組みについて

第7章 賃金制度改革の現状と労働組合の課題